



【表紙写真】経営企画室・診療支援室スタッフ

新年度のあいさつ(看護部長 堂地由紀子)(事務部長 寺前学)

Dr. topics(循環器内科 田上和幸 医師・山下恵里香 医師)

### 部署紹介【経営企画室・診療支援室】

健康だより【風邪に負けたくない! 免疫力を上げてみよう!】

ナーシングホームひだまり

鹿屋訪問看護ステーション

救急看護学会学術集会

救外コラム

にじいろ保育園・池田保育園 クリスマス会

大隅地域合同企業説明会/鹿屋体育大学サッカー部通信

1月 外来診療表

保険証の代わりにマイナンバーカードで

**マイナ受付**

**患者の皆さま、  
マイナンバーカードで  
受付してください✓**

今回お持ちでない方は、次回からご持参ください。

一人ひとりの過去の薬剤・診療情報などに基づいたより良い医療が受けられます



## 【新年のご挨拶】

看護部長  
認定看護管理者

# 堂地由紀子



昨年は、元日に発生した能登半島地震の災害支援において、当院からのJMAT派遣を2月に行い、災害復旧支援活動に全力で取り組みました。また7月には5病棟のうちの一つを地域包括ケア病棟から急性期病棟へ転換するなど、看護部にとっても病院にとっても大きな転換を行いました。そしてもう一つ、10月には5年毎に認定更新している病院機能評価の訪問審査を終了しました。これは病院の運営管理および提供される診療・ケアについて、中立的かつ科学的な見地から第三者の評価を受け、その結果を継続的な質の改善につなげる取り組みであり、今回が6回目の受審となりました。

私は池田病院に平成6年に入職し、看護部長として8年目を迎えます。看護師人生は池田病院と共にあり、30年の節目を迎えました。かつて私が看護師長であった10年ほど前は、月当たりの新規入院患者さんの数は150～180名でしたが、今では260～320名の入院患者さんを受け入れています。救急搬送患者数も年間約550名であったものが、今では2000名以上となるなど、地域でも有数の救急・急性期病院となりました。がん治療においても地域の中核的な役割を担う病院となっています。鹿屋・大隅地域の医療体制・ニーズの変化が起きているのではないのでしょうか。

このような変遷において、私たち看護職はより高度な知識・技術が求められるようになりました。先日、目に留まったのはディズニーの創始者であるウォルト・ディズニーの名言です。「ディズニーランドはいつまでも未完成である。現状維持では後退するばかりである。」というものでした。ファンに愛されるアミューズメントを、どこまでも探求されておられたのです。当院の看護師・介護



職は、本当によく頑張ってくれています。多忙であっても患者さんへの笑顔と真心を忘れることなく、鹿屋・大隅のより良い医療・介護を探求して参りましょう。

これから先10年、子育てや老親を支えていかなければならないスタッフが多くなると思います。それぞれの家族背景や家庭環境を考えた適材配置を行い、職員を大切にすることが患者さんやご家族を守ることに繋がると考えております。昨今の働き方改革しかり、医療の現場ではさまざまな改革が求められています。看護部は今後DXやAI活用に取り組み、IT化を図っていきます。一方で、患者さん・ご家族の思いを大切にし、「寄り添う看護」を実践できる次世代を担う看護師・介護職の人材育成に取り組まなければなりません。10年後の未来を想像しながら、私は一人一人の看護師人生を支えていく環境作りに、全力で取り組んで参ります。

医療業界には、今年も大きな変化の波が来るでしょう。今年は巳年であり、脱皮する蛇のイメージから「再生、成長の年」でもあります。地域の皆様のお力になれるよう、誠心誠意頑張っていきます。日頃から多大なご支援いただいている皆さまに感謝を申し上げるとともに、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますよう、引き続きよろしくお願ひ致します。皆様にとりまして幸多き一年であります様、心よりお祈り申し上げます。

事務部長

寺前 学



2025年は、十干十二支で乙巳(きのとみ)の年となります。60年周期の42番目に位置するこの年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性を秘めています。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているといわれています。

年頭にあたり、2024年の青仁会を振り返ってみたいと思います。

まず、ここ数年にわたって最重要課題と位置付けた「新病院建設事業」ですが、建設コストの異常なまでの高騰や、人手不足による竣工までのスケジュールが見通せないなどの悪条件が重なり、現病院での増改築によって当面の課題解決を図る方針に転換をいたしました。経営管理を預かる立場の者として忸怩たるものがありますが、まずは経営基盤をより盤石なものとし、将来に備えることが肝要と考えております。

年間を通して職員の満足度をより高めることについて、いくつかの施策を行ってまいりました。職員が長期にわたって安心して勤続できるよう導入した「選択制拠出型企業型年金(DC)」は2年目に入り、安定稼働が継続できています。また、スタッフのスキルアップのための研修会を積極的に開催し、こちらは昨年12月で41回となりました。この研修会は医師が主催し理事会承認を経て実施されますが、参加スタッフにはワンコインが支給されます。講師である医師は無給で頑張ってくださいとあり、頭が下がる想いです。

そして診療報酬制度を活用したベースアップを6月に実施し、7月には例年通りの定期昇給を実施するなど、厳しい経営環境下においても不断の経営努力を継

続いて参りました。10月からは、「第三の昇給」として「チケットレストラン」を新たに導入しました。これは、専用のICカードとアプリを使用し、カードには法人と職員とが毎月半額ずつを負担して一定額をチャージします。サービスを利用する職員が、このカードで食事代を支払うことにより、半額の食事補助が受けられる仕組みです。ここでは特に、平等・公平な福利厚生制度の導入に配慮しました。

このように、様々な取り組みを行ってまいりましたが、2025年は新病院から増改築へ切り替えた事業計画を、安定的に着実に推進することが最大の課題です。「最善の新病院開院」から「最速の増改築完了」への転換によって、「池田総合病院」の開院を目指して取り組む一年となります。そのため、乙巳(きのとみ)の年である2025年は辛抱強さが試される年になるでしょう。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要だと思います。自分のペースを保ちながらも着実に前進することで、最終的には望む結果に近づくことができると考えています。

この一年もより良い年となりますよう、改めましてご指導、ご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。





### 循環器内科 田上和幸

### 循環器内科 山下恵里香

2024年10月1日付で池田病院循環器内科に入職しました、田上和幸(たのうえかずゆき)と山下恵里香(やましたえりか)です。循環器内科の中でも、特に不整脈疾患を専門としています。では、不整脈とはどういった病気でしょうか？大きく分けて、頻脈性不整脈と徐脈性不整脈に分類されます。頻脈性不整脈は脈が速くなるもので、代表的なものは心房細動や発作性上室頻拍です。これらの不整脈に対しては薬物療法であったり、カテーテルアブレーション(心筋焼灼術)といったカテーテル治療を行ったりします。また、徐脈性不整脈は脈が遅くなるもので、洞不全症候群や完全房室ブロックが代表的であり、ペースメーカー植込み治療を行います。我々が入職し、これらの不整脈疾患に対して常時治療が可能になりました。症状でお困りの患者様、医療機関の担当者様、ご連絡いただければいつでも対応いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

当院不整脈センターは、上記写真のように多職種が協同し、和気藹々とした雰囲気での治療を担当しています。カテーテルアブレーション治療やペースメーカー植込み治療には、医師2名のほか、専任看護師2～3名に加えて臨床工学技士2～3名、臨床検査技師2～3名、診療放射線技師1～2名の合計約10名がそれぞれの担当の職責を果たしており、一人が欠けても治療がスムーズにいきません。まさに“*One for all, all for one*”の精神で、真摯に一人一人の患者様に向き合っています。当院は、常勤医がカテーテルアブレーション治療をしている大隅半島地域で唯一の病院です。患者様の健康の一助になればと思い、チーム一丸となって日々研鑽、努力しています。

また、失神(気絶)外来及びスマートウォッチ外来を、本格的に開設しました。突然気絶するような症状でお困りの方や、スマートウォッチで異常と表示されたことがある方が外来受診できるようにしています。第2及び第4金曜日の午後外来で、お電話での予約が可能ですのでご連絡いただければと思います。

## 経営企画室



経営企画室は、その名のとおり病院経営に関する業務を中心に担っており、毎月の経営分析や統計処理、施設基準管理および事業計画の立案など、病院運営においてとても重要な役割を負っている部署であり、現在3名のスタッフが配置されています。

経営企画室のモットーは「挑戦と成長」です。「挑戦無くして成長なし」という信念のもと、日々の業務を遂行しています。

「経営」という言葉を聞くとパッと思いつくイメージとして、一般企業などでは利益を上げ、その会社を大きくしていくことを思い浮かべる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。「病院」と「経営」はあまり結びつかないイメージの言葉ですが、病院においても必要な利益を確保して運営をしていかなければなりません。一方で、当院の開設者は医療法人であり、営利を目的とした運営は法律で禁止されています。

医療機関における収益源は健康保険法に基づく診療報酬制度であり、そこで定められている手技料や材料などの点数を算定することにより収益を得ています。その限られた収益の中で病院を運営し、機器の新規購入や更新などの再投資および新規事業への準備などを行っていかなければなりません。経営企画室では診療報酬で得られた収益やかかった費用を分析して実績を理事会へ報告するとともに、改善策の提案を月次で行って安定的な病院運営が可能となるよう努めています。また、診療報酬制度に定められている施設基準の届け出や、各種指定関連の届出・管理も行っています。特に2年に一度実施される診療報酬改定の対応においては、改定内容の把握や院内への周知、シミュレーションの実施および新規基準の届け出などでも中心的役割を果たしています。

これまで述べたとおり、経営企画室の業務は病院運営全般に関わる内容であり、組織横断的な機動力と即応力が求められているため、各部署の理解と協力がなければ成り立ちません。健全な病院運営を行っていくためには病院全体で取り組んでいかなければならないことは言うまでもありませんが、微力ながらそのサポートを担っていけるよう日々精進して参ります。

経営企画室 山口

## 診療支援室



診療支援室は、急性期病院の役割を果たすため、医師や医療関係職員および事務職員等の間で業務の役割分担を推進し、医師の事務作業を補助する専従者を配置することにより、医師が診療に専念できる環境を整え、医師の事務作業負担の軽減を図ることを目的として設置されました。

設置された当初は、医師事務作業補助者として専従者2名の体制で、施設基準としては医師事務作業補助体制加算50対1を届け出ていました。現在の診療支援室は10名体制となり、3年以上の経験を有する7名を専従者とし、医師法医師事務作業補助体制加算は20対1の届出を行っています。

業務内容も徐々に拡大しており、医師との連携は勿論のことですが、医師以外の看護師やコメディカルなど他の職種との連携を図り、多職種協働を実践してチーム医療の一員として活動しています。

### 診療支援室の主な業務内容

#### ■外来診療クラーフ

- \* 医師の外来診療補助

#### ■各種書類の作成補助

- \* 診断書・証明書等の文書作成補助
- \* 介護保険主治医意見書作成補助
- \* 診療情報提供書の作成補助
- \* 退院サマリーの作成補助

#### ■診療に付随する事務的業務内容

- \* 統計資料等作成補助
- \* 臨床研修のための資料作成補助
- \* 学会・研究会のための資料作成補助

#### ■電子カルテの代行入力

- \* 医師の指示のもと、電子カルテ代行入力
- \* 操作説明

#### ■外来診療予約

- \* 外来診療の予約及び管理
- \* 勤務医の勤務状況把握及び調整

診療支援室 中村

# 風邪に負けたくない! 免疫力を上げてみよう!



毎日寒い日が続いて空気が乾燥し、風邪をひきやすい時期ですね。実は、風邪をひきやすい人、ひきにくい人、その分かれ目は**からだの抵抗力=免疫力の強さ**にあるのです。



## からだを守る免疫力

風邪の原因の8~9割はウイルスと言われています。(種類は200種以上!)ウイルスは空気中の水分が多いと、塵やほこりと一緒に地面に落ちてしましますが、空気が乾燥していると長時間空中に漂っていられます。冬に風邪が流行る原因のひとつです。

今のところ、原因となるウイルスを死滅させる薬はありません。風邪薬は症状を和らげたり抑えたりするもので、最終的にウイルスを撃退するのは、からだ自身が健康を維持する力=免疫力なのです。

→まずは自分の免疫年齢をチェック☑←



### 【A】

- よく歩いている
- 夜寝る時間は、毎日ほぼ一定
- 何でもよく食べる
- ヨーグルト、乳酸菌飲料、納豆などの発酵食品、キノコ類をよく食べる
- コレステロール値は200~300mg/dl程度
- (既婚者の方)配偶者と一緒にいると心が落ち着く、安心できる  
(独身の方)一人を楽しんでいる
- 細かいことはあまり気にしない
- 一晩寝たら嫌なことはすぐ忘れるタイプ
- 人とおしゃべりすることが好き
- 何でも相談できる友人がいる

### 【B】

- 平熱は36.5℃以下である
- 緊張感のない生活を送っている
- 便秘ぎみ。うんち、おならが臭い
- 以前に比べて笑うことが少なくなった
- お酒や好きな食べ物は我慢することが多い
- 健康管理には神経質だ
- 休日はひきこもりがち
- とくに趣味がない
- 誰にも打ち明けられない秘密が多い
- 辛いことは引きずるタイプ

自分の年齢 歳	-	【A】チェックの数 個	+	【B】チェックの数 個	=	免疫年齢 歳
------------	---	----------------	---	----------------	---	-----------

あなたは何歳でしたか?「免疫年齢」が若い方はよかったですね。しかし、若かったからと言って何もしないのではなく、継続して免疫力を高めていきましょう。



## 免疫力を高める方法

## 1. 体温を上げる！



体温が上がると血液の流れが良くなり、免疫力があがります。免疫機能をもった白血球が体中をめぐることによって異物を発見し、駆除してくれるのです。一般に、体温が平熱より1度下がると免疫力は30%低下し、1度上がると5~6倍アップします。

体温を上げるには・・・



40度くらいのお湯に5~10分つかる

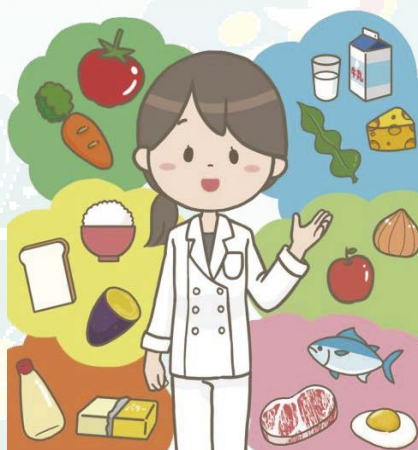


1日30分以上のウォーキングで筋肉を維持する



運動とタンパク質で筋肉量を増やす

## 2. バランスの良い食事をする！



すべてのことに言えますが、バランスの取れた食事はとても重要です。そしてまた、免疫力も食事による影響を大いに受けます。

【免疫力を高めるために摂りたい食材】

- 腸内細菌を増やすヨーグルト、味噌などの発酵食品
- 抗酸化作用を活性化させるビタミンA,C,E
- 免疫細胞を作るたんぱく質が豊富な魚類、肉類

毎日の食事を少しずつ意識すれば、免疫力を確実に高めて、健康な身体をつくることができます。

## 3. ストレスをためない！

免疫にとってストレスは大敵です。ストレスを受けると自律神経のバランスが崩れて食欲不振や血行不良を起こし、しいては免疫力の低下につながってしまいます。

適度な睡眠

適度な運動

よく笑う



・・・に心がけましょう(^o^)

こんにちは！保健師です。  
新年あけましておめでとうございます。寒さが厳しく、さまざまな感染症の流行の心配もありますが、生活習慣や食生活に注意して免疫力を上げ、風邪に負けないカラダづくりを目指しましょう。

ケアサポートセンター：徳田、小牧



## 入所での日々のご様子の紹介



ひだまり入所ご利用者の、日々のレクリエーションや施設内での様子を紹介します。午前中は集団体操を行い、お天気の良い日にはベランダで太陽の光を浴びて「良い天気だねえ」と、気持ちよさそうなお様子で過ごされています。



また、午後には居室に飾るカレンダーの色塗りや、フロアに飾るクリスマスの装飾やリース作りを行いました。



ひだまりでは、季節感を取り入れながら体操や制作、調理などを計画し、レクリエーションを毎月行っています。ご利用者が、趣味や様々なことに興味を持ち続け、生き生きとした施設生活をお過ごしいただけるような環境づくりを目指して、今後も計画をしております。



ひだまり 事務 宮地絵里

●介護老人保健施設とは、介護が必要な方の家庭復帰・在宅支援をめざし、生活サービスを行います。

利用対象者：介護保険の被保険者が対象となります。要支援1・2／要介護1～5の方（入所サービスは要支援を除きます）。

手続き方法は、当施設か担当ケアマネージャーにご連絡ください。見学をご希望の方はいつでも2階の受付またはお電話にてお申し付け下さい。

### ひだまり訪問リハビリ

住み慣れた在宅での生活が安心・安全にその人らしく継続できるように支援して参ります。こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたいなどの希望があれば下記連絡先までご連絡ください。

\*お問い合わせ先 訪問リハビリ 星野(理学療法士)



ホームページアドレス★<https://rouken.ikedahp.com/>  
★ホームページからのお見舞メールもぜひご利用下さい。

介護老人保健施設  
ナーシングホーム ひだまり  
ショートステイ／通所リハビリ／訪問リハビリ  
代表(0994)41-1200／通所(0994)41-1725



## 鹿屋訪問看護ステーション サテライト白水

鹿屋訪問看護ステーションで小児患者の受け入れを積極的に開始したのが、平成 26 年でした。翌年 8 月には小児患者への訪問看護をメインとした「サテライト白水」を開設し、利用者様や関係各機関の皆様方に支えて頂きながら歩みを進め、お陰様で今年丸 10 年を迎えます。

サテライト白水では常勤看護師 4 名と少ない人数ながら、それを強みに変えて職員間の連携を密にし、子どもたちの成長する喜びを親御さんと共に感じながら、時には一緒に悩み、そうして過ごした時間はとても実りあるものでした。

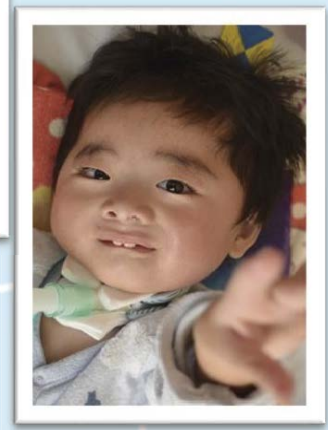
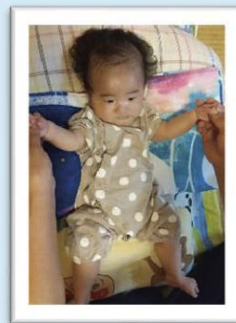
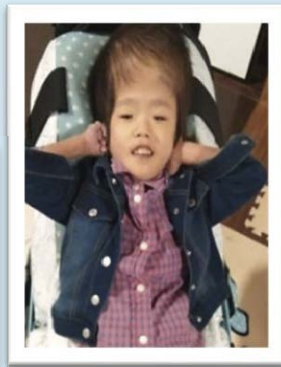
これまで病院での生活を余儀なくされていた子どもたちは、医学が進歩したことにより退院して家族に囲まれて生活することができるようになっていきます。

“我が家で一緒に過ごせる喜びと十分なケアが受けられるかという不安…”

ご家族のほとんどがそんな思いを抱き、日々葛藤しながらも力強く歩んでおられます。この不安を軽減するには、私たち医療の立場だけでなく、教育や福祉、保健など様々な分野の方々からお力を借りて知恵を出し合い、サポートし、社会との関わりを持つことが**必要不可欠**です。

疾病がそれぞれ違うように、**個性も様々** ✨

これまでの経験を糧に、また新しいことを吸収しながら、今後も職員一同励んでいきたいと思えます。



訪問のたびに色々な表情を見せ、私たちがたくさん癒してくれました。出逢ってくれてありがとう！



サテライト白水  
鹿屋訪問看護ステーション

〒891-2311  
鹿児島県鹿屋市白水町 1986-11  
TEL 0994-45-6801  
作成：小倉・橋野



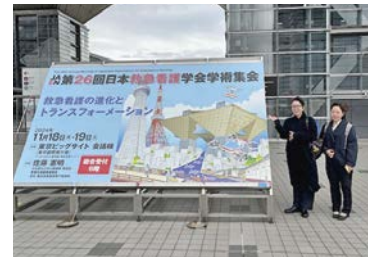
## 第26回 救急看護学会学術集会

看護部外来師長の河野です。

去る11月18日～19日に、東京で開催された第26回救急看護学会学術集会に看護部外来の村山看護師、宮内看護師とともに参加いたしました。

まず、一般演題(口演)災害看護・能登半島地震活動報告①において、当院から「能登半島地震におけるJMAT活動報告～災害亜急性期の活動について～」発表致しました。他院の能登半島地震における活動報告においては、派遣される実働部隊の後方支援として、派遣元の病院で現地の被災状況や、道路情報など情報収集を行っていました。また、活動実績の内容を活動状況報告書にまとめるなど、後方支援に力を入れていました。今後は当院でも参考にし、取り入れたい内容でした。

次に、エコーを用いた看護への応用のワークショップでは、ポケットエコー用いて血管を描出し、穿刺を行っていました。エコーを用いることで、確実に血管を把握し、穿刺できる特徴がありますが、エコーを使用するためには相応の知識や技術の習得が必要となります。患者様へのメリットとして、採血の際に何度も針を刺されずに1回の穿刺で済む可能性が高まります。今後、看護師がエコーを有効活用することで、患者様への負担が軽減できるように技術研修などできるように取り組んで参りたいと思います。



看護部 外来師長 河野竜太

私も同様に、各ブースで様々な講演やパネルディスカッション、シンポジウムを拝見させて頂き、大変感銘を受け、深い学びとなりました。特にどのブースでも多職種連携や多職種協働、チーム医療というキーワードが頻繁に取り上げられていました。多職種協働においては、「まず自職種を省みて、他の職種を理解し尊重するとともに、それぞれの専門性を発揮しながらケアを実践する事が大切である」という講演が深く印象に残りました。

また、PICSの研究をされている看護師ともお話をさせていただく機会があり、「PICSにおける最初の契機は救急外来での穿刺や処置である、その為に看護師は患者を全人的に捉えアセスメントし、患者の1番の代弁者である事が重要である」というお話を伺い、改めて看護師の在り方を考えさせられ、今後の看護実践に活かして行きたいと強く思いました。

来年の第27回日本救急看護学会学術集会は、北海道札幌市での開催です。テーマは革新と連携への振る舞い [emergency nurse、be ambitious!] とされています。札幌の青空の下、私達は何を想っておりますでしょうか。

看護部 外来 看護師 村山さやか



今回2日間に渡り日本救急看護学会に参加し、～救急看護の進化とトランスフォーメーション～をテーマに、研究発表や講演、対談、また、パネルディスカッションやワークショップ等に参加してたくさんの刺激を受け、学びを深める事ができました。

特に印象に残ったのは、「救急で働く看護師のマネジメント能力は社会性が強く影響している」という発表でした。社会的スキルの高さは、救急看護師が患者・家族と初対面でも信頼関係を構築し、ニーズを捉えて意思決定を支援することや、多職種との連携を高めて協働を推進することに繋がっていると提言されていました。

救急の現場では、多職種が関わりチームでゴールを目指して進めなければならない中で協働するためには、お互いを尊重した態度で接し、お互いの都合を考えながら的確なマネジメントに結びつける必要があると感じました。多職種連携や協働を強化し、早期診断・治療に結び付けられるよう、マネジメント能力を強化していきたいと思います。

看護部 外来 看護師 宮内梨奈子



新しい年を迎え、寒さも一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。凜とした空気の中、冬の澄んだ空を眺めながら、希望に満ちた新年のスタートを切られたことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、私は10月13日から15日にかけて宮城県仙台市の仙台国際センターで開催された日本臨床救急医学会に参加し、病院救命士として2つの演題を、そして看護師として「国体自転車競技における救護活動について」の演題を発表する機会をいただきました。それぞれの発表を通じて、私たちの取り組みや課題、そして現場での経験を他の医療従事者と共有することができ、大変意義深い時間となりました。

救命士の演題では、病院内での救命士の役割を具体的な事例を交えて説明し、その中で課題や可能性についても言及しました。特に、救命士の専門性をどのように医療チーム全体の中で活用するかについて、多くの質問や意見をいただき、発表者としても新たな気づきや視点を得ることができました。また、看護師による国体自転車競技の救護活動に関する発表では、大規模イベント特有の準備や救護体制の工夫についてお話しし、同様の状況に対応する医療関係者の方々と活発な意見交換ができました。この経験を通じて、自分たちの取り組みが他の地域でも役立つ可能性を感じ、大きな達成感を得ることができました。

発表を終えた今、学会参加者の皆様からいただいたご意見やフィードバックを踏まえ、さらなる業務の改善や新しい挑戦へのモチベーションを高めています。今後も現場の実践を重ねながら、より多くの方々に貢献できる活動を続けていきたいと思っています。

外傷センター救急救命士 平間 優汰





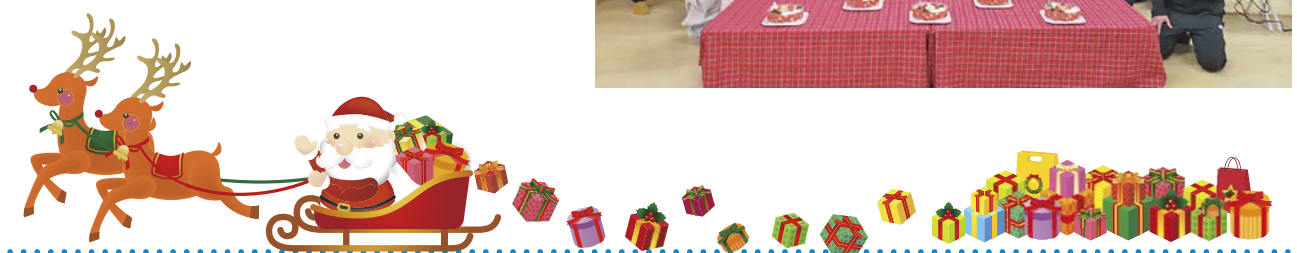
毎年恒例である池田保育園の園児に対して、池田徹会長からはケーキを、池田大輔理事長よりプレゼントをそれぞれ頂きました。こども達は、苺が沢山デコレーションされているケーキを見て、目をキラキラさせていました。また、プレゼントの袋を受け取ると笑顔が溢れ、楽しそうに遊びだすこども達でした。徹会長、大輔理事長、ありがとうございました。

池田保育園 伊集院



12月21日(土曜日)午後3時30分から、にじいろ保育園のクリスマス会を開催しました。全員参加のもとで開催することができ、本当にうれしい限りでした。クリスマス会は、保護者と職員が一体となった内容となっており、素晴らしいものがありました。徹会長先生と理事長先生からはケーキと絵本のプレゼントを頂き、園児も保護者の皆さんもとても喜ばれていました。本当にありがとうございました。

LINKSにじいろ保育園 山崎





## 大隅地域合同企業説明会

12月18日、「知ろう！学ぼう！」をテーマに開催された大隅地域合同企業説明会に池田病院も参加いたしました。当日は大隅地域企業を中心に102社の企業・団体がブースを出展し、活気あふれる一日となりました。

当院のブースには70名の高校生にご来訪いただきましたが、医療従事者のご家族がいらっしゃる方で当院に興味を持たれた方や、ドラマを見て医療の道に興味を持たれた方など様々で、「大きな病院だから長く安定して働ける」といった声も多数聞かれるなど、大変嬉しく思いました。

今回の企業説明会では、当院での働き方や仕事内容のほか、福利厚生制度などについてご説明させていただきました。今後は病院見学やインターンシップなどを通じてより深く当院のことを知っていただける機会を設けるなど、生徒の皆さんにとって将来の選択肢の一つとして、少しでもお役に立てるよう取り組んでまいります。

総務課 蔵ヶ崎(真)



## 鹿屋体育大学 サッカー部 通信

Vol.27

### 全日本大学サッカー選手権 結果

九州大学サッカーリーグの結果、鹿屋体育大学は九州第2代表として、15大会連続27回目の全日本大学サッカー選手権（通称 インカレ）に出場しました。

#### 【プレーオフ】

12/7 @大津町総合運動公園球技場（熊本県）  
鹿屋体育大学（九州2）○ 2-1 新潟経営大学（北信越2）  
プレーオフに勝利し、決勝ラウンドへ進出しました。  
これによりまずは 全国ベスト16を達成しました。

#### 【決勝ラウンド】

グループステージ：グループA @ 茨城県ひたちなか市  
（4チーム中上位2位までがノックアウトステージへ）  
1節 12/14 △ 0-0 明治大学（関東1）  
2節 12/16 ● 0-1 関西学院大学（関西6）  
3節 12/18 ● 0-3 大阪学院大学（関西5）  
優勝候補の明治大学に引き分けたものの、  
グループステージは4位となり、ノックアウトステージ  
進出（ベスト8入り）はなりませんでした。  
全日本大学サッカー選手権 最終成績：ベスト16

この大会をもちまして、Topチームの2024シーズンの公式戦を終えました。シーズン通じて応援、ご支援いただき、ありがとうございました！

（編集：マネジメントスタッフ 隅野美砂輝）



### サッカー部 SNS のご紹介



インスタグラム



X (旧 Twitter)



YouTubeチャンネル

池田病院は鹿屋体育大学サッカー部を応援しています！

# 池田病院 外来診療表

# 1月

池田病院グループ  
健康生活インフォマガジン

池田病院だより  
あい・ことば

通巻第168号  
〒893-0024

2025年1月1日発行 発行所/医療法人青仁会 広報委員会  
鹿児島県鹿屋市下祓川町1830番地

※ご希望の方に無料配布いたします

診療科目	月	火	水	木	金	土
総合内科	今 中 大	担 当 医	下 園 航	成 田 雛 子	今 村 優 太	担 当 医
腎臓内科			池 田 徹	池 田 徹	古 城 卓 真	
透析内科	古 城 卓 真 大 潤 塚 田 薫 行 翼	大 潤 塚 田 薫 行 翼	古 城 卓 真 大 潤 塚 田 薫 行 翼	古 城 卓 真 大 潤 塚 田 薫 行 翼	古 城 卓 真 大 潤 塚 田 薫 行 秀	大 潤 塚 田 薫 行 翼 秀
腎炎専門外来		古 城 卓 真				吉 嶺 陽 造 (第4)
血液内科	中 嶋 秀 人 詞	中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	上 野 卓 也	鎌 田 勇 平	中 嶋 秀 人 詞
脳神経内科	担 当 医		岩 田 真 一			池 田 賢 一 (第2・3)
消化器内科	山 筋 章 博	大 井 貴 之		山 筋 章 博	大 井 貴 之	山 筋 章 博 (隔週) 大 井 貴 之 (隔週)
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	橋 元 慎 一 (第2) 樋 之 口 真 (第4)
肝臓内科	今 中 大 大 井 戸 章 雄 (第4)	今 中 大	平 峯 靖 也	今 中 大	今 中 大	今 中 大 (第2以外) 森 内 昭 博 (第2・3)
消化器内科 内 視 鏡	大 井 貴 之	山 筋 章 博	山 筋 章 博 大 井 貴 之	小 牧 祐 雅 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 山 筋 章 博	担 当 医
呼吸器内科	寒 川 卓 哉	上 野 史 朗	寒 川 卓 哉		上 野 史 朗 安 田 俊 介	
呼吸器外科	鬼 塚 貴 光	武 田 亜 矢 (第1・3)		鬼 塚 貴 光		
糖尿病内科			竹 内 直 矢	上 久 保 定 一 郎 (第3)	西 牟 田 浩	
循環器内科	東 福 勝 徳	池 田 大 輔 東 福 勝 徳	東 福 勝 徳 大 坪 稔 拓	池 田 大 輔	池 田 大 輔	池 田 大 輔
脳神経外科 脳・血管内科		羽 生 未 佳	富 士 川 浩 祥			
リハビリテーション科						川 津 学 (第2)
整形外科	廣 津 匡 隆 大 井 手 貴 之	川 井 田 秀 文	瀬 戸 口 啓 夫 (隔週) 坂 元 裕 一 郎 (隔週)		黒 島 知 樹 (隔週)	担 当 医
消化器外科	豊 崎 良 一				豊 崎 良 一	
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也
心臓血管外科		上 野 隆 幸			上 野 隆 幸	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和	船 迫 和
外傷総合外科 外 科				福 森 和 彦 田 中 誠		
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	富 士 川 浩 祥 石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子
健診内視鏡	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎		
血液内科		中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	上 野 卓 也		
消化器内科	山 筋 章 博			山 筋 章 博		
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	橋 元 慎 一 (第2) 樋 之 口 真 (第4)
消化器内科 内 視 鏡	山 筋 章 博	大 井 貴 之	熊 谷 公 太 郎 大 井 貴 之	小 牧 祐 雅 山 筋 章 博 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 山 筋 章 博 大 井 貴 之	
循環器内科	東 福 勝 徳		東 福 勝 徳			
循環器内科 (不整脈外来)		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香	特 殊 外 来 デ バ イ ス (第2・4) 失 神・ス マ ー ト ウ オ ッ チ (それ以外) 担 当 医	
脳神経外科 脳・血管内科	富 士 川 浩 祥	羽 生 未 佳		石 神 崇		
呼吸器外科		永 田 俊 行 (第2・4)				
リハビリテーション科						川 津 学 (第2)
整形外科			担 当 医		担 当 医 (隔週)	
脳神経外科	担 当 医		岩 田 真 一			
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和 (第1・3・5)	船 迫 和
外 科			白 濱 浩 司			
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子

【受付時間】 午前…8:30~11:00 午後…休診(午後診療は予約以外は休診となります) ※急患の場合この限りではありません。  
 ※総合内科以外は必ずご予約の上、ご来院ください。  
 ※かかりつけ医のある方は、必ず紹介状をご持参ください。(紹介状をご持参の場合もご予約が必要となります。)  
 予約・変更・お問い合わせ

**外来診療予約・変更**  
TEL:0994-45-5278  
FAX:0994-45-5259

**放射線科**  
TEL:0994-45-5163  
FAX:0994-45-5271

**健康診断・人間ドック**  
TEL:0994-40-8782  
乳がん検診も承ります。

**歯 科**  
TEL:0994-43-6468

IKD 医療法人青仁会 池田病院

〒893-0024 鹿児島県鹿屋市下祓川町1830番地 <https://iked-hp.com/>

☎ 109941-43-3434

☎ 109941-40-1117